

うぐいす

2017.November
CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

●編集発行

筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

9月定例会 P2

平成28年度 決算報告 P4

ムダづかいしよらんね? P6

ここが聞きたい (一般質問) P11

第48号

2017.11

年4回発行
5月・8月・11月・2月



9月定例会

9月4日から19日までの16日間の日程で開催された。9月定例会は、諮問2件、報告2件、議案9件、認定8件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。

議案

◇曾根田川河川改修事業薬師前橋架換工事に係る第2回変更基本協定の変更

福岡県と締結した協定について、工事費及び費用負担額を変更。

《質疑》

問 金額の変更は、地盤改良と労務費の改定ということだが、改定はいつか。また地盤改良は第1回変更協定でわからなかったのか。

答 3月の会期中に単価の改定等があり、約4.5%労務費が上がった。地盤の改良は、当初標準の試験でしていたが、改めて擁壁を作る際に調査した結果、想定の支持地盤ではなく追加調査が必要になった。(建設課長)

発議

◇全国森林環境税の創設に関する意見書

森林吸収源対策の推進や安定した雇用の確保などの取り組みのため、全国森林環境税導入を求める。

《結果》意見書採択

⇒国の関係機関へ意見書を提出。

諮問

◇人権擁護委員の推薦

岡松 明子 氏(再任)
尾畑 潮美 氏(新任)

議案

◇筑前町学童保育所条例の制定

学童保育所の設置を明確化。

《質疑》

問 保育料の減免は今までされていなかったのか。

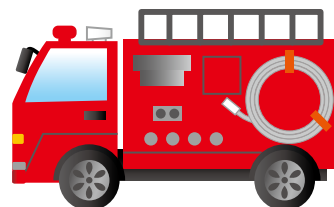
答 要綱に基づいて減免していた。
(こども課長)

◇美味っと筑前弁当工房新築工事請負契約 1億7,496万円

団体客にも対応できる弁当・鉢盛の製造場所及び飲食場所の施設整備。

◇小型動力ポンプ付積載車2台の取得 1,015万円

筑前町消防団第5・6分団に配備。



9月一般会計補正予算

1億1,579万円を増額、総額123億9,032万円

(前年度9月一般会計補正後の総額134億8,034万円)

増額の主なもの



●農業者トレーニングセンター管理運営業務 8,164万円

賃貸借を行っている農業者トレーニングセンターの敷地を購入。

《質疑》

問 今までの賃貸借契約の経過年数と借上料は。

答 昭和56年～平成28年までの36年間に約1億1,600万円。(生涯学習課長)



●町史編纂^{さん}業務 580万円

筑前町史の歴史資料及び考古資料の編纂・刊行を行う。

《質疑》

問 編纂の状況は。また、発刊はいつか。

答 当初26年度中の発刊予定だったが、作業が長引いて本編を28年3月に発刊。資料編の2編、歴史編・考古編を29年度内に発刊する予定。(教育課長)

●道路新設改良費 162万円

やすらぎ荘入口交差点改良に伴う、修正設計委託料。

平成28年度決算報告

※決算の詳しい内容は、広報ちくぜん10月号の2～6ページをご覧ください。

平成28年度の財政健全化判断比率は、実質公債費比率と将来負担比率がともに前年度よりも増加し、町の財政状況は悪化した。

決算審査特別委員会では、代表監査委員北原康則氏の報告を受け、町の対策について議員が質疑を行った。



監査委員による決算審査の様子

監査委員の意見(要旨)

一般会計および特別会計

28年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに基金の運用状況について、各会計決算及び基金の運用状況とも計数に誤りはなく、適正に処理された。

本年度は、株式会社ヤクルト本社の進出に伴う四三嶋工業用地とその関連道路の整備のほか、多目的運動公園の整備の完了、大刀洗平和記念館の増築、上下水道の整備推進、教育環境の充実などが図られた。

備品監査では、教育分野へのメリハリの利いた配慮が印象深く、今後は現場サイドが期待に込めて大きな成果を上げられることを望む。

実質収支は2億3,700万円余の黒字だが、経常収支比率は8%と前年度比3.1ポイント増、財政健全化の指標となる実質公債費比率は13.5%と前年度比0.3ポイント増、将来負担比率は106.6%と前年度比5.7ポイント増。いずれも前年度に比べ悪化しており、財政構造の弾力性の低下

や、資金繰りの悪化、将来の財政負担の増大が懸念される。

合併後、インフラの整備等に精力的に取り組んで来たことが大きな要因であり、成果も上がっている。

今後、一層の財源確保に努めるとともに、地方債の借入額を償還額の9割以下に抑制し、歳出の効率的な執行を図るなど、町当局の努力を望む。

特別会計については、国民健康保険事業特別会計の国民健康保険税の徴収率が改善傾向にはあるがその率は高いとは言えない。一人当たりの医療費は前年度比、微減となったが、引き続き財政の健全化に努力されたい。

公営企業会計

28年度筑前町水道事業会計の決算は、計数に誤りはなく、適正に処理されていた。

平成21年の給水開始以降、給水人口は増加しているが、普及率は未だ48.1%に留まっている。計画的、効率的な事業の推進に努め、水道水の安定的な供給と普及を図るよう望む。



27年度と28年度の比較

財政健全化判断比率	27年度	28年度	差
① 実質赤字比率	なし	なし	—
② 連結実質赤字比率	なし	なし	—
③ 実質公債費比率	13.2%	13.5%	0.3%増
④ 将来負担比率	100.9%	106.6%	5.7%増
公営企業の資金不足比率	資金不足なし	資金不足なし	—

※語句の説明

実質公債費比率：一般会計が負担する元利償還および準元利償還の標準財政規模に対する比率。

将来負担比率：地方債現在高など、将来負担額の標準財政規模に対する割合。

公営企業：水道企業会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、工業用地造成事業特別会計

議員による質疑

問 経常経費の削減を図り、財政硬直化防止と弾力性確保の努力を強く望むとの、監査委員の意見が毎年繰り返し返されているが、どう受け止めているのか。

答 経常経費の削減について、早急に検討していく必要があると思っています。物件費については、いろいろ見直しができる部分もあると考えているので、早急に対策をまとめたい。
(財政課長)

問 具体的対策は。

答 自主財源を増やす方向で今後は考えていく。そのためには町税を増やし、分担金や負担金・使用料等を上げるしかない。経費の削減についてはいろいろなところにメスを入れる。
(副町長)

問 財政計画なり目標を設定する必要があるのでは。

答 数値目標については検討し、設定していきたいと考えている。
(財政課長)

問 予算審議の時に今年の財政健全化計画について報告はできないのか。

答 当初予算の段階では分からない。
(副町長)

一般会計決算

- **歳入** (収入)
総額 133億6,586万円
(前年度比5.6%増)
- **歳出** (支出)
総額 131億3,851万円
(前年度比5.9%増)



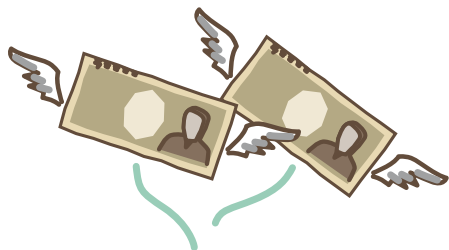
問 財政計画を出していないのはなぜか。財政計画は毎年ある程度の正確な数字を出し、見通しを立てて作るわけだから、ぜひやってもらいたい。

答 3月頃に策定していたが、6月の補正予算後の予算と計画の間はかなり開きもあり、もう少し中身を検討すべきというところで、まだ説明に至っていない状況。28年度決算を基に財政計画の策定を早期に行いたいと考えている。
(財政課長)

しよらんね？

度決算

の質問は、127 項目



まちの広報車

問 キッチンカープロジェクトは土・日は必ずみなみの里にいるというスタイルでこれからもいくのか。

答 農林商工課、みなみの里と協議しながら一番いい、効率的な広報活動等を模索していきたいと考えている。

(総務課長)

学校の問題

問 いじめ・不登校の实情は。
答 不登校が小学校2名、中学校20名。いじめは小、中合わせて8件を認知している。

(教育課長)

問 給食の食材は一括発注しているが単価は合わせているのか。

答 価格の調整は行っているが、引き続き調整協議が必要。

(教育課長)

地域の問題

問 行政区の合併について、どのように考えているのか。

答 地元からの盛り上がりがあった場合は町としても全面的に支援していきたい。

(総務課長)

問 地元の盛り上がりがないればこのまま51行政区でいくことになるのか。

答 高齢者が多くなっている状況の区については今後推進していきたい。

(副町長)

国保特別会計

問 国保税滞納について、公平性の観点からも対策は。

答 夜間訪問徴収・別途督促状の発送。一層の努力をして、収納率の向上を目指す。

(健康課長)

問 特定健診受診率は50%に届いてないが、対策は。

答 啓発を更に進め受診勧奨を行い、受診率向上に努力する。

(健康課長)



特定健診を受けて健康な毎日を！

農業振興、環境保全

問 農業振興地域整備計画の見直し時期は。

答 大きな課題もあるので、十分検討していく。

(副町長)

問 農業用ため池の点検は行っているのか。

答 県が熊本地震後にすべてのため池の点検を行っている。

(農林商工課長)

問 県営河川の草刈りは、高齢化が進み地元負担が大きくなるが。

答 県より、大型機械の購入や防草材を張る等の対策も考えられるが、今のところ手立てがないと回答があった。

(建設課長)

問 道路維持補修工事が少し増加しているが、これからの対応は。

答 要望は、毎年100件程度ある。未処理の件数は約300件ある。予算と精査して進めていく。

(建設課長)



ムダづかい

平成28年

決算・事業成果に対する議員にわたった。その一部を掲載。

団員の確保を

問 火災時に出勤人員は昨年より減少している。これはどういったことなのか。

答 昨年は昼間の火災が多かった。団員が多く集まらない事があるが、機能別団員は、過半数常に出動している。

(環境防災課長)



施設の利用

問 多目的運動公園のキャンセルが非常に多い。改善策は。

答 スポーツ少年団指導員に対して、過度な予約はせず、必要なときだけの予約を指導している。

(生涯学習課長)



多目的運動公園

エネルギー対策

問 庁舎のエネルギー対策として、LEDへ移行を進めるべきでは。

答 対策に三分の二の補助がある。年度途中でも事業に取り組んでいく。

(副町長)

高齢化社会にむけて

問 声の広報を高齢者で見にくくなった方にも届けてもらいたい。

答 見えづらくなってきた方については、今のところ考えていない。

(総務課長)

問 CDがあるという情報を多くの住民に届けることが必要では。

答 検討課題とさせてもらう。

(総務課長)

問 老人クラブの減少をどのように捉えているか。

答 老連に加入せずに活動する老人クラブもある。個人の意識の変化が大きい。(福祉課長)

問 1人のケアマネージャーで1日50件対応している。負担になっていないか。

答 50件は平均的な数値である。もう一人分の予算を取っているが、応募者が無い。

(福祉課長)



子どものためにできること

問 美和みどり保育所に看護師雇用の考えは。

答 医療的行為が必要な方が、美和みどり保育所を希望される場合には、詳細を聞き検討しなければならない。

(こども課長)

問 命の授業は大切である。全生徒対象が望ましいが。

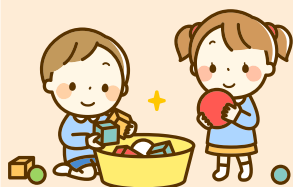
答 重要な事業であるので、こども未来センターとしても学校、教育委員会と連携し進めたい。

(こども課長)

問 通学合宿は地域の教育力をつくるために、必要と思うが。

答 地域の負担が大きいとの意見があり、今年度は町主体で、地域の協力(見守り・もらい湯・宿泊)を得ながら実施した。

(生涯学習課長)



各議員の賛否

平成29年9月定例会

区分	審議結果	議員名	深野良二	田口讓司	横山善美	山本一洋	奥村忠義	木村博文	石丸時次郎	栗野光雄	山本久矢	川上康男	福本秀昭	梅田美代子	一木哲美	河内直子	田中政浩
報告		議案名															
		平成28年度財政健全化判断比率	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	適任	平成28年度公営企業の資金不足比率	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学童保育所条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成29年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	認定	平成29年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
			(反対討論)河内:部落解放同盟への補助金は、財政規模300億を超える自治体でさえ500万円しか支出していないのに、600万円を超える補助金の支出は、到底町民の理解が得られない。														
			(賛成討論)深野:部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃に向けて啓発を行い、住民の相談事業等も行っている団体であり、その団体への補助は適正。														
		平成28年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
			(反対討論)河内:高すぎて払いきれない国民健康保険税、保険料を下げての提案がほしかった。														
			(賛成討論)石丸:慎重審議の結果、承認されており、適正な執行がなされている以上、反対の理由が見当たらない。														
		平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
			(反対討論)河内:後期高齢者が増える分、保険料が上がる仕組みとなっており、高齢者の負担は重く、75歳という年齢だけで医療保険を差別している。早急に元の老人保健に戻すべき。														
			(賛成討論)奥村:75歳以上の高齢者の心身の特性に応じた医療を提供し、国民皆保険を堅持する制度として、後期高齢者医療広域連合と連携しながら、適正に業務遂行している。														
その他	可決	平成28年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
			(反対討論)河内:各々事情があるとはいえ、貸付金の回収があまりにも少なすぎる。法的手段に訴えてでも回収に力を注ぎ、後世の職員に負担をさせるべきでない。														
			(賛成討論)山本一洋:今後も貸付金の返済がすべて終わるまで事務が継続される。滞納者の管理や面談、弁護士等の相談などにより、適切な債権管理が行われている。														
		平成28年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成28年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成28年度水道事業会計決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成28年度工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	採択	工事請負契約の締結(美味っと筑前弁当工房新築工事)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得(筑前町消防団第5・6分団小型動力ポンプ付積載車)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		曾根田川河川改修事業業師前橋架換工事に係る第2回変更基本協定の変更	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	採択	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長 矢野 勉は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

行政視察報告

～学んで町づくりへ活かします～

総務建設常任委員会

日程 平成29年7月4日～6日 3日間

視察地 宮城県（石巻市・南三陸町・女川町）

〈石巻市・女川町〉災害対策

視察地の中で特に女川町の取り組みに注目した。

防潮堤を整備するハード面の強化だけでは完璧な防災を目指すことに限界があるため、新しい町づくりの基本理念は防災よりも「減災」を掲げている。また、将来にわたって続く人口減少を前提に、ハード面では、人の流れを分散させず集約する構造にして、経済活動や地域活動を展開しやすい環境をつくる。ソフト面は、質の高い行政サービスを提供しつつ、住民をはじめ町を使う人々を増大させる取り組みを、行政と民間が連携して行う。女川町が早期復興できたのは、住民との連携が取れていたのが大きな要因と言える。



〈南三陸町〉バイオマス事業

生命活動に必要な最低限のものは、できる限り地域内で蓄え備えるべく、人と環境に優しく災害に強い町を目指している。南三陸町バイオマス産業都市構想を定め、①生ごみやし尿などの汚泥を利用したバイオマス事業、②残材などを活用した木質ペレット事業の推進を図っている。

これにより産業創出が9～10億円、雇用創出が約100人、地域エネルギー創出が約600世帯相当、ごみ処理施設の財政負担削減が年当たり約1億円、その他に温室効果ガス削減、農業用液肥利用など、様々な分野で事業効果を出している。

文教厚生常任委員会

日程 平成29年7月19日～21日 3日間

視察地 石川県（珠洲市・中能登町・白山市）

〈珠洲市〉親子議会の取り組み

珠洲市の親子議会は、市内7つの小中学校から14名の子ども議員が市長に質問を投げかけ、市長が答弁を行う。子どもが質問事項をクラスで考え、また家庭に持ち帰って親子で考える仕組みで、親子ともに珠洲市に対する理解と関心を育むことができる。



〈中能登町〉学力向上の取り組み

中能登町では、小学校で基本的な学習習慣を徹底に取り組み、中学校では質の高く行き届いた授業を目指し、県内トップクラスを維持している。また学校支援員を多く配置することで、学習の定着や子どもたちの精神的安定化という効果が生まれている。

〈白山市〉学力向上、少人数学級

教職員の授業力向上として、夏休みに2学期以降の授業づくりに向けた研修を行ったり、「対話の活性化」「書く力の育成」を重点に研究を行い、学力向上に成果を出している。他にも「個に応じたきめ細かい教育」のため、30人以下の少人数教育を推進している。

～こんなこともやっています～



8月24日(木) 教育委員と文教厚生常任委員の懇談会



○アフタースクール

中牟田小学校で週2回、放課後に体験、学習会を行っている。

○過去と現在の教職員の職務内容

特に変わっていないが、様々な教育課題へ対応している。

○校務支援システム

ICT化により教職員の負担にならないようにしている。

これらについて新教育委員と懇談を行った。



9月21日(木) 区長会と議会の意見交換会

各地区の区長から課題や多くの意見が出され、活発な意見交換を行った。

- 河川の草刈りが高齢化に伴い人手不足で、困難になってきている。今後の展望は。
- 高齢化により区でできないことが今後増えてくる。コミュニティへの取り組みが必要。
- ハチの駆除のため、町から貸出用の防護服を用意してもらいたい。
- 非常食等を備えるための一部補助をしてほしい。
- 巡回バスの時間帯の見直しを。



今後の予定

- 議員研修会〈2講座〉11月13日(月)
- 文教厚生常任委員の学校訪問





9月定例会

ここが
聞きたい!

一般質問

町政を問う

9月議会では、8人の議員から59件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

筑前町議会

検索



石丸時次郎 議員

コミュニティ推進
今後の方向性は
石丸 推進計画が策定され10年。進展がない原因は何か。
町長 合併時の課題として本庁に遠い地域は衰退の可能性があった。解決策としてコミュニティがあるが財政等も踏まえ総合的な判断が必要。
石丸 校区コミュニティの構想が見えない。



質の高いサービス提供が好評の「自治会バス」(小郡市)

また、組織体制が脆弱と思うが。
企画課長 推進体制の充実が必要。今後は関係課と連携し方向性についても協議していく。
石丸 現状の地域巡回バスは課題が多い。抜本的な見直しを。
町長 高齢化社会を迎え地域公共交通は重要。現況では利用者も少ないが将来は必要となる。大事なインフラという認識のもと取り組んでいく。

推進計画の早期実現を

財政等を考慮し総合的に判断

実効性ある防災
組織の確立

石丸 自然災害発生直後の救命活動は自助・共助による地域力が重要。町の対策は。
環境防災課長 被害の拡大防止や減災には迅速かつ的確な行動がとれる防災体制が重要。町民への意識高揚を図り自主防災体制の育成、指導を行っている。
石丸 自主防災組織を実効性あるものにするため町はどのような役割を果たしていくのか。
町長 まずは、被災地の現場を見ること。また、ボランティア活動を通して、防災意識が高まることから積極的支援を行っていく。



福本秀昭 議員

検証・改善の定着を

検証サイクルに努めている

学力向上の成果は

福本 「筑前町学校教育推進29」に研修を通じた指導力の向上とあり、指導主事2名配置で、学力向上の結果が得られるのか。

教育課長 長年学校教育に携われ、豊富な経験と専門的知識を活かした研修により、各学校の学力向上に繋がると考えている。

学校間で調整は

福本 授業・学力調査の検証・改善を定着しては。

教育課長 各学校の担当者と一緒に会し、学力分析部会・授業改善部会で学力調査結果を分析し、フォローアップ資料を学校へ配布して、検証サイクルに努めている。



小学生の授業風景

英検の狙いは

福本 全中学生を対象に英語検定に挑戦され初めての取り組みと思うがその狙いは。

教育課長 学習指導要領改定に伴い英語力強化が必要である。

9年間の特色は

福本 9年間を見通した特色ある教育活動を進めると取り上げてあるが具体的には。

教育課長 夢や志を育む筑前っ子育成プランを踏まえ、小学生では2分の1成人式、中学生では立志式などのキャリア教育、心の教育の実施。

土曜授業の成果は

福本 年5回実施されているが成果は。

教育課長 地域、保護者と一体となった体験活動や学習活動が、児童生徒の学ぶ意欲や達成感の向上に繋がっている。

排水路の板柵が劣化しているが

田口 三輪地区の場合昭和46年から圃場整備事業が行われ、半世紀近く経った。至る処に劣化が見られるが何か手立てはないか。多面的機能支払交付金事業では資金不足、個人負担では経費が高い。

農林商工課長 農業施設は経年劣化により破損個所が見受けられることは承知している。農村環境事業、多面的機能支払交付金事業があるので窓口で相談を受けている。

西田地区の住環境整備事業について

田口 平成22年度から取り組んでいるがどうなっているのか。現状は、道路幅の狭い谷状

の道路、見通しの悪い4m以下道路、雨水路が未整備で道路上に流入する。

都市計画課長 現在の計画では、財政体力方面のハードルが高く、現計画での進捗は進んでいない状況。

町長 財源的にも限界がある。精一杯危険地区を再確認しながら対策を講じていきたい。

河川の清掃について

田口 川の中に菰みたいな草が茂り大雨のたびに心配するが。

建設課長 河川の巡回など行い優先度を判断し、財政面も考慮しながら対応したい。

町長 河川の寄り洲の状況は、深刻な問題だと考えている。今後とも県土整備事務所にも願っている。

住民避難訓練はしないでもいいか

田口 盛んに北朝鮮が弾道ミサイルを飛ばしているが、避難訓練は。

環境防災課長 6月広報紙の国民保護コーナー、町のホームページでミサイル落下時の避難行動を掲載すると共に区長会で説明をしている。

その他の質問

- ・土づくり対策
- ・墓地交付金
- ・大刀洗通信所



劣化している板柵

板柵劣化の対策は

窓口で対応している



田口讓司 議員



山本一洋 議員

**防災対策について
自助・共助・公助の
役割**

山本 自助として、家庭の防災グッズの所有率アップに向けての啓発と対策は。

環境防災課長 広報誌による啓発や展示コーナーを設けて紹介をしている。

山本 共助として、今回の九州北部豪雨のような災害を想定しての住民を巻き込んだ地域コミュニティでの訓練を実施してはどうか。

環境防災課長 防災訓練を通して、地域コミュニティが活発化し、より深まるかとは思いますが、まずは個々の防災意識を高め、範囲を広げたい。

地域コミュニティを早く作り、実践的な防災訓練を

自主防災組織を充実させたい



親子そろって防災訓練

山本 校区や地域で行った訓練が各区の自主防災組織へと広がっていく事により、町民一人ひとりの防災意識へと繋がるのではないかと。

環境防災課長 各区長さん方の意見も聞きながら効果的な訓練に取り組みたい。

山本 公助として、今回の想定外の豪雨により、ハザードマップの変更はないのか。

環境防災課長 豪雨災害の検証を含め、県とも情報を共有しながら、今後見直す。

山本 砂防ダムには、土砂が堆積しているが役目を果たしているのか。

建設課長 県が行う事業で、町内30か所にあるが、機能的に問題はなく緊急点検でも異常なかったと聞いている。

山本 災害については、一人ひとりの心構えと準備が必要だと言われており、実践的な防災研修・訓練の必要性が強調されている。今後も防災に強い地域・町づくりを推進してほしい。

自主防災組織の訓練を

訓練を

梅田 訓練により被害の拡大を最小限に止めることができる。9月1日「防災の日」前後に、全住民、町内の自主防災組織が一斉に参加する訓練の実施を。

町長 全町挙げての訓練も必要だが、段階的にモデル地区等で訓練を拡大していきたい。

梅田 タイムライン、時系列による事前防災行動計画の取り組みは。
環境防災課長 今後研究を重ねていきたい。

子供向けハザードマップ作成を

マップ作成を

梅田 低学年にも分かるマップを作成し総合的学習で学ぶことは有効である。

環境防災課長 学校とも話していきたい。

砂防ダムの設置を

梅田 災害回避に砂防ダムは効果があったと聞く。今後の計画は。

建設課長 浦谷川の2基工事が来年度完了。地元要望があれば県が対応する。

自主防災組織の女性参画状況は

女性参画状況は

梅田 災害時に男女共同参画の視点は不可欠であるが。

環境防災課長 役員になられる方が少ない。女性の訓練参加は2〜3割である。

子ども議会の開催を

梅田 模擬議会を通して、子どもの意見を町政に活かすことができるが。

教育長 学校の意向も聞き実施に向け検討したい。

中学校で放課後塾を

梅田 中学3年生を対象に民間塾と連携した放課後塾の実施は。
教育課長 有効な方策と認識し、検討する。



全住民による訓練を

町内一斉防災訓練を

モデル訓練等を実施する



梅田美代子 議員



木村博文 議員

動物福祉の充実を

木村 犬猫の苦情が多いと聞くが、対策は。
環境防災課長 動物愛護団体「しっぽお助け隊」や保健所の協力のもと、犬のしつけ教室や、猫の飼い方講座等を開催して啓発を行っている。

木村 去勢、避妊に補助金を。

環境防災課長 手術費の全額負担は困難。県の事業を基軸に、今後の検討課題とする。

木村 多目的運動公園で犬の散歩が出来るようにするべきでは。

町長 現状は賛否の考えがある。他の公園との整合性もあり、双方の意見を聞きながら検討していく。

ペットの適正な飼養管理を

根気強く注意、啓発をしていく



動物福祉の充実を

木村 災害時、避難所、仮設住宅での、ペット対策は。

環境防災課長 ペットは同行避難が原則。本町の災害初動マニュアルでは、指定避難所、仮設住宅共に入れず、離れた場所に飼育場所を確保するようにする。

ICTの活用を積極的に

木村 公式フェイスブックのページを立ち上げて、町の情報発信を出来ないか。

飼養管理を

総務課長 情報発信するには、承認が課題と考える。今後研究していきたい。

木村 災害時の情報提供でスマホ等を活用する計画は。

環境防災課長 情報の拡散をさらに進める事が期待でき、ホームページの更新と一緒に検討していきたい。

その他の質問

・光ケーブル活用の促進
・道路等の良好な管理を

部落問題解決への道

河内 人権教育の名で部落問題を特別扱いするのではなく、憲法が保障する基本的人権の意義を子どもたちの権利条約を踏まえながら学び理解する教育が大切ではないか。見解は。

教育長 附帯決議を遵守し、同和問題に対する授業づくりへの指導支援を行っていく。

河内 新しい要因を是正していくことが、同和問題解決のために成し遂げるべき極めて重要な課題であるとして

いる地域改善対策会議の意見具申を、どう認識しているのか。

町長 行政の主体性を保持し、あらゆる差別の解消に向け取り組んでいきたい。

河内 特別扱いするのではなく、人権尊重と民主主義の教育、啓発・相談は憲法に基づいて一般施策として行い、垣根をなくしていくことこそ解決への道だ。

教育課長 実施に向けて取り組んでいきたい。

支援者への支援が大切

河内 地域の防災計画に支援者への支援を、入れてもらいたい。

町長 何が一番力になれるかと考えた場合、やはり職員への支援と思う。十分念頭に入れて今度の職員等の派遣をやっていきたい。

バリアフリー アドバイザーの 有効活用を

河内 厚生労働省の補助金を活用しNPO法人等を連携した施策が必要ではないか。

福祉課長 今後、研究させて頂きたい。

入学準備金は入学前に

河内 入学前実施について検討はしたのか。

教育課長 実施に向けて取り組んでいきたい。



河内直子 議員



附帯決議の遵守を

「部落差別解消推進法」参議院 附帯決議の受け止めは

遵守し慎重に取り組んでいきたい



山本久矢 議員

小規模企業へ支援策は

研究・検討する

小規模企業振興を

山本 小規模企業振興のため、どのような施策をしているか

農林商工課長 27年10月に福岡県中小企業振興条例が制定された中、商工会へ毎年約1千万円余の運営助成を行っている。

山本 総合計画に商工業振興計画の策定を図ることが記載されているが進捗状況は。

農林商工課長 現時点では未策定。当面は商工会策定の経営発達支援計画の施策実施に支援、協力していきたい。

山本 小規模企業振興条例の制定が必要では。
農林商工課長 9自治体が制定済である。今後は周辺自治体や町村レベルの動向を注視し、研究・検討したい。

朝練の苦情を聞くが

山本 部活動の朝練時に耳障りの音がする苦情を聞くが学校へ苦情は上がっているのか。

教育課長 部活動の朝練に対し、周辺住民より苦情があった。校長、教頭が訪問して事情説明、理解協力をお願いした。

山本 乾燥時期は特に砂埃、PM_{2.5}、窒素化合物等が地上に降りきて、生徒児童に健康被害を与えている。グラウンドに散水設備、生徒の健康は考えてあるのか。

教育課長 散水設備は三輪中・夜須中2校、目や気管支への影響を防ぐには有効だと認識。
山本 是非設備を。



町にも条例制定を



改修前



改修後

道幅広く、通いやすい道へ

車の多い国道沿いの歩道を通り抜けていた三輪中学校の生徒たち。そんな心配の多い通学路を解決すべく、町議会でも長年、一般質問で問題提起をしてきました。ようやく今年7月、386号線沿い通学路部分の工事が完了して開通しました。

安全な通学路の確保を

一般質問『どうなった？』

その後

傍聴をしての感想

いろいろな質問に対し担当課の回答がよく理解できた。また、防災についてのハザードマップの件で、家庭・子ども向けに詳しく作成していたら、高齢者を含め、学校・各

地域コミュニティ活動は町にとつて大変重要な課題であると考えている。今後の展開に期待している。

(M・Kさん)

朝倉市、日田地区のような特別災害が今後出た場合の筑前町の山間部の対策も含め検討をお願いします。

防災についての町の対策、現状と今後の取り組みを聞き、思ったより深く想定されていることを知りました。教育や公園、道路の件など、実生活に沿った話が聞けてよかった。

(M・Mさん)

9月定例会の傍聴者数は24人でした。

傍聴はどなたでもできます。多くの方をお待ちしています。

傍聴へどうぞ!

平成29年

12月定例会(予定)

●開会

12月 6日(水) 10:00~

●一般質問

12月11日(月) 10:00~
~13日(水) //

●閉会

12月15日(金) 14:00~

※会期予定は11月17日(金)の議会運営委員会で確定のため、変更する場合があります。

vol.18 街角 TOPICS

中牟田小学校アフタースクール

中牟田小学校アフタースクールが開講しました。
(AFTER SCHOOL)

アフタースクール(地域学校協働活動事業)は、学校と地域が連携・協働し、地域人材の協力を得て、学習支援・体験活動を実施することで、学力の向上に資することを目的としています。町では、本年度中牟田小学校をモデル校として、同小学校内で9月から週2日、16時から17時まで実施し、41名の児童が参加しています。

この事業は、地域コーディネーターが年間活動を企画立案し、学習支援と体験活動を1週間毎交互に行っています。学習支援は中牟田校区内に在住の地域の方8名と教育課指導主事が行い、体験活動は、現在生涯学習課職員を中心に行っています。



編集後記

九州北部豪雨災害から早や3カ月。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますと共に、今だ避難所生活を余儀なくされている皆様が一日も早く元の生活を取り戻せるよう微力ながら、力を尽くして参ります。

災害は忘れた頃にやってくる。備えあれば、憂いなしです。日頃から防災意識をしつかり持つて、自分自身を守りましょう。(河内直子)



発行責任者

議長 矢野 勉

議会広報特別委員会

委員長 横山 善美

副委員長 山本 久矢

委員 深野 良二

委員 奥村 忠義

委員 梅田美代子

委員 河内直子